国際ロータリー第2670地区
高松西ロータリークラブ
2026年 3月13日 Vol.23

よいことのために手を取りあおう Weekly Report 2025-2026

創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

会長：鈴木雅博 / 幹事：堀井実 / 副会長：遠藤直樹 / 会長エレクト：藤田俊和 / 副幹事：岡田和幸 /S.A.A: 松岡寛征

今週のプログラム　第2660回　3月13日

新入会員卓話：滝一孝会員

担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松

先週のプログラム　第2659回　3月6日

米山奨学生：叶娟娟さん送別会

担当者	米山奨学委員会・親睦活動委員会	例会場	JRホテルクレメント高松

鈴木会長挨拶

・皆さんこんばんは。
本日は叶娟娟(ヨウエンエン)さんの送別会となります。
あっという間の2年間だったと思います。
ネットで調べたら今日は「世界一周記念日」だそうです。
これから世界を股にかけて活躍する圓エンちゃんにふさわしい日だと思います。
それでは最後までよろしくお願いします。

堀井幹事報告

回覧　・ガバナー月信が送られて参りましたので、回覧に回します。

案内　・5月24日(日)に職場訪問例会ということでカマタマーレ讃岐の試合観戦を予定していますので、会員の皆様方の御予定に加えてください。

出席報告　出席委員長：大西一正

会員数	43名	出席規準数	41名
出席者数	29名	欠席者数	12名
出席率	70.73%	ビジター	0名
最終出席率 / 2月13日	52.50% → 60.00%		

メイクアップ

2月28日　米山奨学生終了式および歓迎会　藤田

ニコニコBOX

エンちゃん卒業おめでとう！ 次回は研究者として客話お願いします。	藤田
カンサイインに選らばれました。	江島
お米届きました。ありがとうございます。 それと彼女ができました。春がやってきました。	松宮
妻の誕生日に贈り物をありがとうございました。	山中
誕生祝ありがとうございます。	低田
誕生祝ありがとうございます。61才になります。	遠藤
遅刻	2件
	合計8件

本日の合計	32,000円
2025-2026年度累計	588,000円

3月13日 今日は何の日

サンドイッチデー/青函トンネル開業記念日/新選組の日
1781年 ウィリアム・ハーシェルが天王星を発見。
2015年 寝台特急「北斗星」がこの日発の運行限りで廃止。

今日生まれの有名人

1974年 戸田菜穂　1954年 ランディ・バース
1966年 今田耕司　1945年 吉永小百合
1956年 佐野元春　1883年 高村光太郎

誕生花	「白いフリージア」花言葉は“あどけなさ・無邪気・純潔”
誕生石	「スフェーン」宝石言葉は“誠実・徳望・鎮静”

手に手つないで

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おおロータリアン おおロータリアン

RI会長からのメッセージ（３月）

コミュニティーアクションから広がるインパクト

フランチェスコ・アレッツォ
2025-26年度 国際ロータリー(RI)会長

水は、私たち全てをつないでいます。人里離れた森を流れる川から、都市部を通る小川に至るまで、淡水の生態系は人類の暮らしを支えています。しかし近年、これらの水への負担は増大しています。汚染や過剰利用、気候変動の影響は、淡水の保護が世界共通の課題であることを、改めて私たちに突き付けています。

ロータリーは常に、変革は地域社会から始まると信じてきました。現在私たちは、コミュニティーアクション、すなわち地域社会での行動が、どこまで大きなインパクトを与えるか見極めようとしています。地域社会での奉仕が人を結び、評価され、共有されるとき、その力は地域や国境を超えて広がっていきます。

この考えを体現しているのが、パナマ・ノルデステ・ロータリークラブが主導する水プロジェクトです。同プロジェクトは、パナマのダリエン州に暮らす先住民コミュニティーのために実施されました。この地域へはカヌーや小型ボートでしか到達できず、道路もなく、電力供給も限られています。住民は未処理の川の水に頼らざるを得ず、深刻な健康リスクにさらされていました。

このコミュニティーに支援を届けるため、ロータリアンは物資や支援の提供方法そのものを見直す必要がありました。パナマのクラブは、アメリカのクラブおよび水分野の専門団体と連携し、電力網のない地域でも利用可能な太陽光発電による水処理システムを導入しました。さらに、現地のリーダーがシステムの操作や維持管理の研修を受けることで、設置作業員が去った後も、安全な水が安定して供給される体制を整えました。

成果はすぐに表れました。病気のために学校を休みがちだった子どもたちは教室に戻り、川から水を運ぶ重労働から解放された大人たちは、その時間と体力を家族を支える仕事に充てられるようになりました。水プロジェクトとして始まった取り組みは、やがて、より健康で強靭(きょうじん)な地域社会を築く基盤となったのです。

このように私たちは、地域のリーダーシップに、グローバルなパートナーシップ、専門知識、そして長期的な視点を組み合わせることで、インパクトが及ぶ範囲を広げています。

同じ精神は、「淡水保全のためのコミュニティーアクション」を通じた、ロータリーと国連環境計画（UNEP）とのパートナーシップの中核にも息づいています。世界各地で、ロータリークラブとローターアクトクラブが、水路の回復、湿地の保全、重要な淡水源の保護に取り組んでいます。これらの取り組みを可視化し、測定するためのデータを収集することでそのインパクトをより深く理解し、地域での奉仕が世界的な解決策にどのように貢献しているかを示すことができます。

もちろんデータは目的ではなく、学びと改善のための手段です。ロータリーの奉仕が、測定可能な真の変化をもたらすための道具なのです。プロジェクトが登録され、水環境が回復されるたびに、それは責任を持って淡水を守るという、私たち共通の物語の一部となります。詳しくは communityactionfor-freshwater.org をご覧いただき、ぜひこの取り組みにご参加ください。

「水と衛生月間」に当たり、皆さんの地域社会を支える淡水の仕組みと、それを守るためにロータリーが果たせる役割について、改めて考えてみてください。

地域での行動を世界的なビジョンにつなげることで、私たちは持続可能な変化をもたらすことができます。手を取り合い、インパクトを広げることで、私たちは真に「よいことのために手を取りあう」ことができるのです。

公共イメージ向上委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申しあげます。
題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構ですので投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。

よいことのために手を取りあおう
Rotary

次週のプログラム	第 ２６６１ 回		３ 月 27 日
客話：ＭＴＫ サービス　北村麻理映様			
担 当 者	プログラム委員会	例 会 場	ＪＲホテルクレメント高松